

## 恩納村石狩市交流事業レポート 1年C組 No.17 當山航琉



左記の写真は日程2日目の「いしかり砂丘の風資料館」での様子です。この日は主に北海道の自然、石狩市の歴史について学びました。

石狩市の歴史は約 5,000 年ほど前は海に囲まれていて今ほどの土地はありませんでしたが長い年月をかけて今の広大な北海道の土地になりました。そして13世紀にアイヌ人が出現しました。石狩市の人々はチョウザメを神として祀り、多くの漁業を発展させました。そして石狩市の川で多くの鮭がとれることを生かし 1877 年 10 月 10 日に日本で最初の鮭缶工場ができました。

3日目の夜は北海道雪まつりの見学を行いました。右記の写真がその雪まつりの作品の一つです。

作品の中には地元の人が考えた作品があり大規模な作品を建てる際には北海道の陸上自衛隊の協力を得て建てるそうです。作品は主に去年の流行したものの作品が多かったです。雪で作ったとは思えないほどの迫力がありました。



今回の恩納村石狩市交流事業に参加して、沖縄と異なる文化に触れることで大きく生活の視野を広げることができました。激しい気温差もあり慣れないこともあり大変なことも多くありましたが、沖縄ではできない体験や遊び、食することができない食べ物など異なる文化、生活を体験することができました。